

26年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

5月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	5月						改善プラン		所管課確認	
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント						
1	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員への対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B		B		無					
2	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	B	使用最大電力の抑制のデマンド監視により電力削減を図った。	B		無					
3	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-EIに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	ヒアリング	B	電力抑制制御(デマンド監視)により、館内の節電を実施	B		無					
4	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B		B		無					
5	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	A	4教室、2イベントを開催 社協と地域住民と連携し災害時安否確認を行い、又、その様子を館内に掲示し、高齢者の孤立化の防止対策を図った。	A	今年1月に指定管理者主催による災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施し、その様子を東日本大震災の被災地復興支援写真展と合わせて館内に掲示。掲示された写真等を通じて災害の備えやボランティア活動の重要性を改めて認識してもらう企画を実施したことを評価する。	無					
6	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、2イベントを開催	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、事業計画どおりの実施を月報等で確認。	無					
7	14	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無					
8	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行 長房ふれあい館HP内にて、イベント等開催の掲載	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、事業計画どおりの実施を月報等で確認。	無					

26年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

10月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	10月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員への対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	A	避難訓練を実施	A	9月に実施した避難訓練では、事前に施設利用者に説明し、参加の協力のもと、計画に沿った実践的な訓練を実施した。実施にあたり、円滑に訓練が実施されたこと、また、実施結果の課題を検討するなど、職員の防災に対する意識の高さを評価します。	無				
2	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	B		B	職員自ら簡易な施設修繕を行うなど、日頃から経費削減に努めている。	無				
3	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-EIに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	ヒアリング	B		B		無				
4	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B	満足度調査を実施し、ご意見等の結果の改善に努める。	A	8月に実施した利用者満足度調査では、全般的な満足度の肯定的評価が99.2%であった。成果目標以上の成果があったのは、日ごろからサービス向上に向けた取り組みによる成果であると評価します。	無				
5	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	B	4教室、3イベントを開催	B	フラダンスやフォークダンス教室等の開催をはじめ、書画や写真などを展示する作品展を定期的に開催した。今後も、施設の目的に沿った取り組みを期待します。	無				
6	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、3イベントを開催、文化祭を開催	B	文化祭では、日ごろの成果である手芸や書などを展示した作品展をはじめ、大正琴やフラダンスなどの舞台発表を実施した。昨年を上回る参加者により開催されるなど、目標や計画どおりの成果があったものとして評価します。	無				
7	14	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無				
8	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行 長房ふれあい館HP内にて、イベント等開催の掲載	B		無				

26年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

2月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	2月						改善プラン		所管課確認	
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント						
1	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員への対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B		B		無					
2	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	B		B		無					
3	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-EIに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	ヒアリング	B		B		無					
4	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B		B		無					
5	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	B	4教室、4イベントを開催。	B		無					
6	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、4イベントを開催。	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、月報等で概ね計画どおり実施していることを確認した。	無					
7	14	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無					
8	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行 長房ふれあい館HP内にて、イベント等開催の掲載	B	指定管理者のホームページや広報誌、また広報はちおうじ等にイベント案内等を掲載し、利用促進に努めた。	無					

26年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員への対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B		
2	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	B		
3	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-EIに準拠した取り組みを実施し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。	ヒアリング	B	電気使用量は対前年度比1.3%増であった。 要因は利用率の増加によるものであるが、引き続き環境に配慮した施設運営に努めること。	
4	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	A	昨年8月に実施した利用者満足度調査では、全般的な満足度に対する肯定的評価が99.2%であった。 目標以上の成果があったのは、日ごろからサービス向上に向けた取り組みの結果であると評価します。	
5	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 <成果目標・指標> 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	B		
6	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	フォークダンスや健康体操教室などのふれあい館教室をはじめ、各種イベントの開催を計画どおり実施した。 なお、イベントでの参加者が対前年度比で約10%増であったなど、多くの参加者により開催された。	
7	14	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		
8	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 <成果目標・指標> 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		